

# 週報

2025年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

&lt;先週の説教から&gt;

『詩編60 — 人間の与える救いは空しい』

武田真治 牧師

詩編 60:1~14 テモテへの手紙 I、1:15

この詩編は、昔から様々な点で物議を呼んで来た詩編の一つです。先ず、何より最初のト書き（1節、英語ではタイトル）に「ダビデの詩、ダビデがアラム・ナハラタイムおよびツォバのアラムと戦い、ヨアブが帰って来て塩の谷で一萬二千人のエドム人を討ち取ったとき」とありますのでここから始まる詩編の内容としては“戦勝感謝の歌や勝たせて下さった神様を讃美する詩”でありそうですが、初めの3節は「神よ、あなたは我らを突き放し、怒って我らを散らされた。どうか我らを立ち帰らせてください」であるように、内容はむしろ“敗北した後に回復を願う祈り”であるのです。ト書きと全く違っているのはどうしてと議論を呼んできました。この答えは、この時の戦いは、まだダビデがイスラエル全体の王様に就いたばかりの頃で、その支配が確立しないうちに滅ぼしてしまおうと、周囲にいる敵国が次々と襲い掛かって来た戦い（＝サムエル記下8章）でしたので、緒戦の段階ではかなりダビデは苦勞をした、敗戦も経験したであろうことが想定出来るのです。まだまだ不安定な時期にダビデが祈った言葉であろうと。

このト書きには「指揮者によって、『ゆり』に合わせて」という説明もありますから、この詩が神殿や会堂の礼拝の中で“みんなで歌われていた”ことも分かります。ダビデは他に勝利の歌や讃美の詩も作ったでしょうが、後の人々が共感して唱えたのは“敗北と回復を祈る”言葉であったということでしょう。だから『詩編』に残ったのです。

この詩編で教えられるのは「あなたを畏れる人に対してそれを警告とし、その警告を受け入れるようにされた」です。ここで「警告」と訳されている言葉は（ネース）で、普通は「旗」と訳されます。故に、新しい『聖書協会共同訳』は「あなたを畏れる人には、一つの旗をお与えになり

ました、弓矢から逃れた者を再び集めるために」と訳してあります。この場合の「旗を置く」は“印にする”です。特に、この敗戦をしっかり反省して、もう一度、ここからやり直す“印＝記念とする”と言う意味です（故に『新共同訳』は「警告」と訳したのでしょう）。緒戦に於ける敗戦を教訓として、二度と同じ過ちを起さないようにすると！

そして、同時に「どうか我らを助け、敵からお救いください。人間の与える救いはむなししいものです。あなたの愛する人々が助け出されるように。それを我らへの答えとしてください」とも祈られています。他国との同盟関係を持つことで窮地を脱するのでなく、神様のみに信頼し、必ず最後には救ってくださるという信仰を持って戦おうという思いもまた新たにできたという“印”でもあると！

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 5月6日(水) 20:00  
II. 5月7日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記  
祈祷主題: 母の日合同礼拝を覚えて  
担当者: (水) AH (木) SY  
祈りに覚える人 SKさん SMさん

## 【教勢報告】

主日礼拝 男14 女46 計60  
祈祷会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女4 計5  
日曜学校 幼稚科7 小中科11 計18  
ハンナの会 <4月21日(火)> 男2 女7 計9  
ひじ雲の会 <4月27日(月)> 男0 女3 計3

## 【次週：母の日合同礼拝】 5月10日(日)

聖書: 創世記 2:18~23  
説教: 「合同礼拝—わたしにふさわしい助け手を  
プレゼントして下さる神様」

武田真治 牧師

讃美歌: 490(子供137)、32(子供27)、200(子供55)、60(子供58)、533(子供129)、24(子供25)

## 【次週当番表】

司式: KN 長老 奏楽: NY 礼拝: SM 長老  
献金: KK KA 受付: SM HH  
会堂準備: IY OY KS NY  
MH

看板: II 週報: YS お花: IK

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校礼拝 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム  
礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会  
・聖歌隊練習 ・壮年/婦人/ダビデ 各会

2026年 5月 3日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549